



しいば 議会だより

第110号

令和5年4月



国土交通省 道路局総務課 鎌原課長(前宮崎県副知事)

発行
編集

宮崎県稚葉村議会
議会だより編集委員会
〒883-1601
宮崎県東臼杵郡稚葉村大字
下福良1762番地01
TEL(0982)67-6209
村内無料電話7-67-0091



国土交通省 水管理・国土保全局 岡村局長

国土交通省 吉岡技監

3月定例会 ○○○○○(2~5)

総括質疑・一般質問 ○○○○○(5~10)

議員活動報告 ○○○○○(10~11)

議会の動き ○○○○○(12)

令和5年3月定例会

令和5年3月定例会が3月8日に開会、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算、村道路線の認定、条例の制定、一部改正などの議案審議が行なわれ提案どおり議決、15日に閉会しました。

また3名の議員(那須重美議員・河口吉弘議員・椎葉文典議員)が一般質問を行い、村長の答弁を求めました。

3月定例会で審議・議決したこと

議案番号	件名	審議審査結果
同意第1号	東臼杵郡公平委員会委員の選任に同意を求めること	同意(全員一致)
諮問第1号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦に意見を求めること	可決(全員一致)
議案第1号	令和4年度椎葉村一般会計補正予算(第10号)	可決(全員一致)
議案第2号	令和4年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第3号	令和4年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	可決(全員一致)
議案第4号	令和4年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第5号	令和4年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
議案第6号	令和4年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第7号	令和4年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第8号	令和4年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
議案第9号	令和5年度椎葉村一般会計当初予算	可決(全員一致)
議案第10号	令和5年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第11号	令和5年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第12号	令和5年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第13号	令和5年度椎葉村電気事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第14号	令和5年度椎葉村介護保険特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第15号	令和5年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第16号	令和5年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第17号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第18号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第19号	椎葉村課設置条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第20号	椎葉村過疎自立促進基金条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第21号	椎葉村遊休施設利活用促進条例の制定	可決(全員一致)
議案第22号	椎葉村情報公開・個人情報保護審査会条例の制定	可決(全員一致)
議案第23号	椎葉村公の施設に係る指定管理者の指定手続き等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第24号	椎葉村交流拠点施設設置条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第25号	椎葉村特定教育・保育施設及び特定地域保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)

議案番号	件名	審議審査結果
議案第 26号	椎葉村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第 27号	椎葉村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第 28号	椎葉村簡易水道事業の設置に関する条例	可決(全員一致)
議案第 29号	椎葉村水道給水条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第 30号	椎葉村簡易水道積み立て基金の設置及び処分に関する条例の廃止条例	可決(全員一致)
議案第 31号	村道路線の廃止	可決(全員一致)
議案第 32号	村道路線の認定	可決(全員一致)
議案第 33号	椎葉村災害派遣手当の支給に関する条例制定(追加議案)	可決(全員一致)
発議第 1号	椎葉村議会基本条例の制定(議員発議による条例制定)	可決(全員一致)

令和5年度一般会計予算 台風14号による災害復旧大型予算を編成

平成5年度一般会計当初予算は、昨年9月の台風14号による一日も早い災害復旧を行なうため、前年当初予算比で30億6,900万円(1.6倍)増の総額81億8,200万円の災害復旧大型予算となりました。

当初予算に盛り込まれた災害復旧費総額は29億2,802万円、その内訳は農業用施設災害復旧費が2億1,644万円、林道施設災害復旧費が9億607万円、道路橋梁災害復旧費が18億550万円となっています。

更に、令和4年度からの繰り越す災害復旧費が12億5,632万円も加わり、合計約42億円の災害復旧が執行されます。一日も早い復旧・復興を望みます。

令和5年度当初予算(議案第9号～16号)

会計名称	当初予算の額(万円)	前年度の予算額(万円)	前年度との比較(万円)
一般会計	81億8,200万円	51億1,300万円	30億6,900万円
国民健康保険特別会計	3億3,786万円	3億5,418万円	△1,631万円
国民健康保険病院事業特別会計	5億1,200万円	5億1,600万円	△400万円
電気事業特別会計	4,945万円	1億4,045万円	△9,100万円
簡易水道事業特別会計	8,865万円	9,302万円	△437万円
介護保険特別会計	4億4,371万円	4億2,152万円	2,218万円
後期高齢者医療特別会計	7,844万円	8,098万円	△253万円
ケーブルネットワーク特別会計	7,731万円	8,727万円	△995万円

(千円以下切捨のため一致しない箇所有)

令和5年度一般会計当初予算の主な事業

(千円以下切捨て)

○地域振興課関係の事務事業予算

- ・特定地域づくり協同組合設立業務委託料 125万円
- ・移住支援給付金 560万円
- ・バス運行委託料(宮崎交通・ひえつき交通・快速バス) 5,087万円
- ・商工会、観光協会、物産センター運営補助金 3,054万円
- ・椎葉平家まつりや各地区の祭り開催補助金 4,373万円
- ・デジタル木工遊具製作プロジェクト業務委託料 1,020万円
- ・棚田展望台設計及び工事請負費 514万円
- ・山中ダム展望台設計及び工事請負費 273万円



○税務住民課関係の事務事業予算

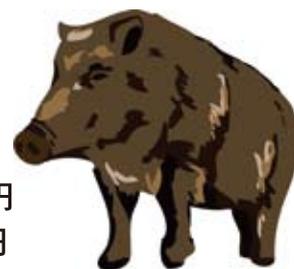
- ・日向・東臼杵広域連合負担金(塵芥処理や火葬場の運営費) 3,436万円
- ・し尿処理に関する費用(し尿運搬と入郷地区衛生組合負担金) 4,240万円

○福祉保健課関係の事務事業予算

- ・社会福祉協議会運営補金 2,956万円
- ・いきいきサロンや移送サービス事業などの業務委託料 1,175万円
- ・老人クラブ関係補助金 174万円
- ・ファミリーサポートセンター業務委託料(新規) 311万円
- ・誕生祝金支給(出生児1人20万円) 300万円
- ・子育て支援金(小学校入学・卒業、中学校卒業時に各10万円) 480万円

○農林振興課関係の事務事業予算

- ・立体園芸振興ハウス等設置事業補助金 1,282万円
- ・優良メス牛保留導入奨励事業補助金 1,627万円
- ・堆肥舎設置事業補助金 586万円
- ・有害鳥獣捕獲対策事業補助金(シカ、イノシシなど) 3,143万円
- ・椎茸生産に関する補助金等予算(特用林産物含む) 4,099万円
- ・特用林産業新規就業者支援事業交付金 250万円
- ・下刈施業特別対策事業補助金 2,824万円



○建設課関係の事務事業予算

- ・桑の木原地区公営住宅宅地造成・住宅新築工事(4棟) 8,827万円
- ・小規模水道施設工事 3,290万円
- ・林道開設改良工事 9,550万円
- ・村道新設改良工事 3億4,970万円
- ・空き家等実態調査業務委託料(新規) 784万円
- ・住宅新築工事請負費(桑の木原) 6,312万円

○教育委員会関係の事務事業予算

- ・高校生生活支援事業補助金(高校生に対する月2万円の支援金) 1,344万円
- ・奨学資金貸付金(高校・短大・大学・専門学校など) 2,262万円
- ・椎葉村学推進補助金(新規) 80万円

- ・アジア友好の翼実行委員会補助金(中学生の海外研修) 266万円
- ・小崎小学解体設計及び工事請負費 9,112万円
- ・小学校トイレ、プール・給食室改修等設計・工事請負費 2,597万円

○諮問第1号「椎葉村人権擁護員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、令和5年6月30日に任期満了となる人権擁護員法の規定により、村長諮問のとおり甲斐ミハル氏(再任)の推薦に同意した。

氏名	か い 甲 斐 ミハル氏
住所	椎葉村大字下福良1826番地224(上椎葉下1)
任期	自 令和5年7月 1日 至 令和8年6月30日



(甲斐ミハル氏)

○議案第21号「椎葉村遊休施設利活用促進条例の制定」は、利用されていない椎葉村が設置した公共施設の有効活用を図るための条例制定です。奨励措置として、無償貸付や減額譲渡を定めた条例制定です。

○議案第24号「椎葉村交流拠点施設設置条例の一部改正」は、開館曜日等の変更に伴う条例の一部改正です。令和5年4月1日から休館日を「水曜日」から「火曜日」に、また、開館時間を午前9時から午後5時としている「日曜日」、「月曜日」、「火曜日」をそれぞれ「土曜日」、「日曜日」、「月曜日」に改める。また、開館時間を午前9時から午後9時にしていた「木曜日」、「金曜日」、「土曜日」をそれぞれ「水曜日」、「木曜日」、「金曜日」に改めるもの。

○議案第32号「村道路線の認定」

村道として次の12路線が認定されました。

- ・新屋敷上線、新野線、今之谷線、尾後野先上線、水無中線、宮の本上線、合戦原線、道具山線、今村茅野線、上の原線、尾後先線、椎葉五家荘線

○議案第33号追加議案「椎葉村災害派遣手当の支給に関する条例制定」は、地方公務員法の規定に基づき、台風14号災害復旧事業に従事する九州管内2自治体から派遣される2名の職員に対する派遣手当の支給に関する事項を定める条例です。



○議員発議第1号「椎葉村議会基本条例の制定」は、議会及び議員活動の憲法というべき条例で、住民が村民の代表機関として村の発展と村民の福祉増進のために果たすべき役割を定めた条例です。

議会は、公正性、公平性、透明性を確保し、議員は常に自己研さんと資質の向上に努め、この条例の定めを遵守し、村民に開かれた存在感のある議会を築かなければならないとし、自らの活動と責務等に指針を明確にし、村民の負託に応える決意を表明。議会の最高規範としてこの条例を定める。

総括質疑

村長の令和5年度施政方針及び新年度予算に対する総括的な質疑を4名の議員が行ない、村長の見解を求めました。

「総括質疑」とは、議会に提出された議案等に対する質疑。議案等の詳細な審査は予算審査特別委員会において行なわれるため、総括質疑においては、根本的なものについて行なわれる質疑。



なすしげみ
那須重美 議員

質
問

台風災害による迂回路の解消は!

問1

年頭において、令和5年度は復興元年と位置づけ、施政方針では災害復旧を最優先に進めていくとの方針も示された。その様な中、大河内地区は桑ノ木原線、飯干線、不土野線の迂回路3路線は1時間程を要する利用となっており支障をきたしている。利用する村民にとっては毎日のことであるため、解消する様、対策を急ぐべきと考える。村長自らが関係機関に出向き、トップセールスによって復旧を急ぐべきと考える。復興に向けての進捗状況と、今後の計画は。

答1

村長: 国道265号は、災害箇所が6箇所、年度内、3月中にできること、そして、新年度になって継続して、西都土木から支援をいただけるということを聞いた。県費を投入し、応援していただける旨の話があった。桑ノ木原線についても、舗装工事など補修を継続中。その中に地滑り区域があり、なんとか通れるように要望していく。私が先頭をきつて、4関係機関と協議を進め、1日も早く復旧に繋げていきたいと思っている。



しいばはじめ
椎葉一 議員

質
問

台風災害関連での椎葉ダム湖の木材ゴミについて

問1

昨年の台風災害により、椎葉ダム湖の木材ゴミがかなり堆積している。

例年だと、現在量の数分の1程度のゴミの量であり、九州電力も早急にゴミ処理をしていたが、昨年の台風災害から半年経過しているがそのままの状態である。現在、満水状態の中でゴミが堰堤の方に集まって来るが夕方には分散して上流へと散らばる状況を繰り返している。3月1日からは魚釣りも解禁となっており、また、尾八重の扇山会の観光遊覧船

も5月の連休から運行利用したいとの話しも聞いており、観光イメージにも影響が出て来るとおもわれる。行政からの要望をお願いしたいが村長の見解を。

答1

村長: 上椎葉ダム湖のゴミの撤去の質問ですけれども、これまで災害関係で尾平周辺のことについては九州電力と協議をしており、^{しゅんせつ}浚渫を含めた色々な仕事の約束をいただいているが、上椎葉ダム湖についても同様に直接協議し、お願いしていく。





おまえひでひさ

尾前秀久 議員

問1 椎葉の観光で一番必要な条件には、上椎葉商店街の活性化だと考えるが。

答1 **村長**：後継者不足などの要因で空き店舗が増えている。上椎葉公民館を始め商工会、観光協会等からアイデアを出して頂き、村も積極的に後押しをしていく。

問2 台風災害による復旧費用などを含め、基金を取崩しての厳しい予算を組まれたとのこと。今後椎葉村の財産として、森林資源をどのように捉えているのか。

答2 **村長**：新しく森林ビジョンを策定し、100億を超える資源を見据え将来の

財産確保に努めていく。

問3 男女共同参画が言われて久しい年月が経っているが、椎葉村としても行政内部から、このことに取り組んでいくべきと考えるが。

答3 **村長**：「女性の活躍」それは誰もが望んでいるところ。しかし、女性がなかなか前に出ようとしなない一面もある。皆の理解と条件整備が必要であると考え。行政としても取り組んでいく。



(上椎葉市街地)



かわぐちよしひろ

河口吉弘 議員

質問 1

子ども・子育て施策の充実を!

問1 子ども・子育て環境の充実は少子化対策にとって最も重要なこと。県内町村の子ども・子育て支援策を見ると、いくつかの町村では保育料無料化や小・中学校給食費の無料化を実施している。新年度予算では保育所使用料232万円、給食費174万円が計上されているが、ふるさと納税を財源を利用して保護者の負担軽減を図るべきではないか。

答1 **村長**：国の制度として3歳以上の保育料は無償。近い将来ふるさと納税などを活用してそうすべきと思っている。

現在の小中学校の給食費負担が900数十万円、給食費無料化にも手を広げていく必要があると感じている。

問2 子ども・子育てに関する保育料、学校給食費無料化については、他町村でも

実施されており、早急に施策を打ち出していきたい。

答2 **村長**：機会を見て決断をしていく日が近くなっていることを話しておきたい。



(尾向保育所のこども達)

質問 2

椎葉村学について

問1 基幹産業である森林・林業に対する子どもたちの関心と興味を醸成していく「椎葉村学」として取り組むべきでは。

答1 **村長**：椎葉村学指導要領が完成、新年度から実行に移る。将来を担う子どもたちに帰ってきてほしい、そのような村にしたいと思っている。

問2 ひえつきの里キャンプ場の村有林を活用した林業体験も椎葉村学の一つではないか。1億円を超える森林環境譲与税の有効活用を。

答2 教育長: 椎葉村学は故郷を思う気持ちを形にするためには教育の力が必要。村外の人から見ると椎葉は「宝の山」、地元の人には意識されていない。故郷の素晴らしさを子どもたちに再認識してもらうことが大事。

子どもたちと村民との交流を通して、椎葉に対する思いや熱意を感じ取り、生涯にわたって椎葉と関わり続ける生きがいを持った子どもを育てるという位置づけだ。小学校3年生から中学校3年生までの学年に応じた新しい椎葉村型の教育を進めていく。

質問3

台風14号災害復旧は!

問1 新年度予算では災害復旧費が令和4年度繰り越し財源を合わせて41億8千万円、国道通行不能の影響はないのか。

答1 村長: 県外から災害応援職員2名(建設課・農林振興課)4月から着任する。国道327号古園災害は早い時期に通行可能になる。1日も早い災害復旧に努める。



(県道上椎葉湯前線の被害)

村長に聞く! ~ 一般質問 ~

「一般質問」とは、議員が村長をはじめとする執行機関に対し、村の行政全般について、政策提案や事務の執行、将来の方針などについて行なう質問。



なすしげみ

那須重美 議員

質問 森林経営管理システム導入から4年が経過している

問1 導入当初からの森林状況調査業務の進捗状況又、今後の計画はどのようになっているか。

答1 137名、755筆、1,515haの意向調査済みである。経営管理を委ねる旨の検討したいとの回答29名、103筆、212haとなっている。事業実施が可能な山林0.74haと判定。

問2 なぜ、森林組合委託でなく行政業務となったのか。

答2 調査が迅速に対応できることや、その後の取組がスムーズに進めることが

できると判断した。

問3 調査後の森林整備はどのように進め、どのような計画なのか。

答3 森林所有者と協議し、森林管理集積計画を策定し、森林経営管理事業にて実施する。

問4 不在、不明山林についての森林についてどのように考えているものか。

答4 過去の施業履歴や登記情報などを照らし合わせながら、地道に進めていく。

問5 今後も職員によって、調査、事業の実施をするのか。

答5 対象林地の抽出方法の見直しや、事業実施すべき隣地の考え方を検証し直営で意向調査を進めていく。

問6 今後は、この制度で森林経営・森林管理が重点になるものと思われる。後々に後回しすることなく、詳細に調査・把握するよう又、この制度に対する村長の認識を伺う。



答6 大事な調査であると思っているのでその通りに執行していきたい。



かわくちよしひろ

河口吉弘 議員

質問
1

高齢者の生活支援が必要ではないか!

問1

物価高騰対策として昨年8月、75歳以上の高齢者に3万円の生活支援特別給付金支給は高齢者から大きな評価を得た。しかし、その後も物価高騰に歯止めがかからず、年金暮らしの生活は依然として厳しい状況。実施要綱を見直し、低年金高齢者の生活支援を継続すべきではないか。

答1 国民年金受給額の平均は月額5万2千円、高齢者世帯が安心して生活できることが最優先。財源確保を見すえながら高齢者の住まいやサービスを充実させることを考えており、生活しづらさに耳を傾けていく。

問2 65歳以上の高齢者は介護保険料、加えて75歳以上の高齢者は後期高齢者医療保険料が年金から天引きされ、厳しい年金生活となる。特別給付金制度の見直しにより、生活支援の継続が必要であると思うが。

答2 年金から介護保険料や後期高齢者医療保険料の天引きにより手取りが少なくなる現状認識は同じ。検討しながら施策を探っていきたい。

問3 最近の記録的な物価高騰は、特に後期高齢者が大きな影響を受けている。特別給付金制度の見直しを含めて支援をお願いしたい。

答3 高齢者の不安は1番に家族の健康、次に家族の介護、そして生活費や老後の蓄

えとなっている。住民の暮らしを守っていくことが優先されると思っている。



質問
2

粗飼料高騰による畜産業の支援策は

問1

今年1月の延岡市場子牛価格は59万1千円、昨年1月は71万5千円と下落している。一方では、4分の3を輸入に頼っている粗飼料、濃厚飼料価格は1.5倍以上と高騰している。その対策について関係団体と協議を行い支援策を講ずるべきと思うが。

答1

配合飼料の価格は30%上昇、補正予算で畜産農家の影響緩和のため飼料価格高騰対策事業を実施し、日向農協も飼料高騰分の10%の支援金を交付した。また、国の「子牛生産者臨時経営支援事業」により1頭あたり2万円を交付されている。和牛改良組合や関係機関と連携を密にし、急を要する事案が発生した場合には必要な措置を講じる。

問2

経営において粗飼料費が占める割合は42%、餌の基本である稲ワラは大



部分が中国、子牛に欠かせない乾燥牧草やトウモロコシなどの配合飼料もアメリカ、ブラジル などから輸入。輸送費や円安により価格高騰の影響が深刻である。急を要する事態は今ではないのか。

答2

和牛改良組合の意見も聞き、再び対策を考えていくことも必要と考えている。



しいばふみのり

椎葉文典 議員

質問
1

盛土の検証について

問1

一昨年、静岡県熱海市逢初(あいぞめ)川で大規模な土石流災害が発生し28名の犠牲者と98棟の家屋等が倒壊し甚大な被害があり、大雨による盛土崩壊が原因であったと報道されている。昨年3月の予算審議会で「盛土について村内には危険な所がないものか、盛土の調査はされているのか」と説明を求めたが「村内には盛土の調査は実施されていない」との回答であった。

昨年の台風14号では尾前地区と大河内地区で盛土の崩壊で甚大な被害を被っている。県は盛土について県内全域で現地調査を実施されているが、村も県の指導により現地調査を実施していると思うので、現時点の調査で盛土が存在しているのか

答1

村道関係では2箇所、林道関係では69箇所確認されていて、その1箇所が尾前地区の小原の林道十根川三方界線の盛土施設の崩壊が確認された。盛土調査については台風襲来後も村道、林道、河川調査を実施している。盛土規制

法が実施されると盛土について厳しくなると思うが、安全対策を重視して施工を実施して行きたい。

問2

国が示す「危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制します」という盛土規制法が公布された。近年、地震、台風、線状降水帯による大雨等災害が多く発生しているが、盛土調査を徹底的に実施する予算化を図り、二度と盛土による崩壊を発生させない防災対策に万全を尽くすことが大切であり、村民が安全で安心して生活できること、台風で被災された方への補償についてと事業継続への支援については。

答2

盛土の検討委員会が開催されており、最終的な査定結果報告書の確認と委員会の意見を尊重しながら、必要に応じた予算化を行い盛土の崩壊を未然に防いでいきたい。被災者については、県単の災害復旧事業や村の環境保全経費、事業継続には商工業支援事業の災害特例で原状復旧ができるよう支援する考えを持っている。



編集後記

令和5年3月8日～15日にかけて定例会が開催されました。今回の予算は昨年の台風災害による復旧費用がかなりのウエイトを占めた内容となりました。そうした中でも新規事業として10項目ほどの取り組みが示されました。コロナウイルスも終息に近づきつつありますが、まだまだ完全ではありません。しかし着実に前が見えてきたことは確かであり、以前の生活やそれ以上の幸せのために村民一丸となって、前進していこうではありませんか。

議会も一新し、村民に寄り添い声を聴きしっかり頑張ります。

尾前秀久議員

議員活動報告

1月23日 子牛せり市



2月2日 三村議会協議会要望活動

1 1月の総会で決定された要望事項を局長随行の中、諸塚・西米良・椎葉の3議長で県の関係部署に提出し、意見交換を行った。丁寧な対応をいただき、協議会へ対しての目の向けられ方に手ごたえを感じた。

【要望先】・知事(副知事対応)・環境森林部長・県土整備部長
・教育長

【要望事項】1. 国道並びに県道の早期改良整備促進について
2. 有害鳥獣による農林水産業被害への対策について
3. 医師の確保について
4. 遠隔地域の中・高等教育に係る教育費負担軽減策について



3月1日 村道認定調査

産業福祉常任委員会では、3月1日に村道認定予定箇所の机上調査と現地調査を実施した。路線は、

栗の尾地区の新屋敷上線 延長955mの新規
新野地区の新野線 延長1676mの新規
合戦原地区の上の原線 延長1199mの新規
合戦原地区の合戦原先線 延長167mの新規
白杵又地区の道具山線 延長691mの延長再認定
尾向地区の椎葉五家荘線 延長16256mの再認定
向山日添地区の今村茅の野線 延長721mの新規
水無地区の宮の本上線 延長38mの新規
水無地区の水無中線 延長54mの延長再認定
向山日当下地区の尾後の野先上線 延長37mの新規
向山日当下地区の尾後の崎線 延長1492mの延長再認定
向山日当下地区の今之谷線 延長36mの新規

以上、路線数としては、7路線の机上調査と5路線の現地調査、合計12路線の調査を行い、建設課より説明を受けました。

調査した結果、委員会としては、村道認定は適当であるとの意見で一致したところであり、議会において議決しました。



3月17日 常任委員会政務調査・国土交通省要望活動

去る3月17日・18日に、村長も同行いただき上京して政務調査を行った。主たる目的は、江藤代議士が衆議院議員災害対策特別委員長に再度就任されたお祝いと、台風14号災害時に本村にいち早く出向いていただき、迅速な対応、対策に務めて頂いたお礼と、今後の復旧、復興に向けたお願いであった。同様に国土交通省の技監、並びに水管理、国土保全局長・課長・道路局総務課長・東京事務所長へもお礼と要望書を提出した。当日は衆議院の委員会が行われており、4省(内閣・国交・経産・厚労)を傍聴した。翌日(18日)は、中央卸売市場豊洲市場を視察し政務調査を終えた。ハードなスケジュールであったが、今後に繋げられる有意義な実のある議会活動となった。

議会の動き

1 月	4日	令和5年椎葉村二十歳を祝う会	開発センター
	5日	新春賀詞交歓会	開発センター
	9日	市町村対抗駅伝大会	宮崎市
	23日	子牛初セリ市・日向土木事務所新年挨拶	延岡市・日向市
	25~26日	例月出納検査	監査委員室
	27日	県庁村議会議員時局講演会	高鍋町
2 月	1日	議会改革特別委員会	委員会室
	2日	宮崎県三村議会協議会要望活動	宮崎県庁
	13日	日向東臼杵広域連合議会	日向市議会議事堂
	18日	生涯学習フェスティバル	村体育館
			
			
	20日	第2回北部広域行政事務組合議会	延岡市議会議場
	25~26日	例月出納検査	監査委員室
28日	第1回議会運営委員会		
	第1回全員協議会		

3 月	1日	産業福祉常任委員会村道認定調査	村内
	8日~15日	第1回定例会	議場・委員会室
	16日~18日	国土交通省要望活動	宮崎県東京事務所 豊洲市場
		吉岡技監(早期確認型査定拡大) 道路局鎌原総務課長(早期災害復旧)	
			
			
25日	延岡市市制90周年記念式典		
			

椎葉村議会 テレビ生中継

6月定例会は6月上旬開会予定となっています。
お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)
ぜひ傍聴にお越しください。
議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。